



大手通坂之上町地区再開発事業

(仮称)

# 米百俵プレイスから 始まる新たな未来

連載

## その三 図書館

かつて先人は未来を見据え、長岡のまちの礎を築きました。そして今も同じ志を持って活躍する人がいます。次代を担う若者たちにその想いを伝え、未来へとつなぐ「米百俵プレイス(仮称)」への期待の声と魅力を紹介します。

岡中心市街地整備室 ☎39・2807

## 長岡の図書館の原点 「互尊文庫」を寄付



### 互尊思想を唱えた社会実業家

のもと きょうはちろう  
**野本 恭八郎**

嘉永5(1852)年～昭和11(1936)年

刈羽郡横沢村(現・小国地域)出身。20歳で長岡商人・野本家の養子に。如是蔵博物館を開館。

「互いを大切にすれば争いはなくなる」と説く独自の互尊思想を追求した人。互尊思想の修養の場、実業教育の場として互尊文庫建設・運営のための寄付を申し出ました。大正7年に開館した互尊文庫では、法律・経営・工学など産業界のためになる図書や、学生や社会人のための教養本を取りそろえ、多くの人材を輩出。談話室には市内の産業人が集まり、その偶然の話し合いから新しいアイデアが生まれていきました。互尊文庫は、自らの人生を明るく切り開く人間を育てる、いわば「人づくりの図書館」だったのです。昭和20年の長岡空襲で焼失しましたが、繊維商・内藤伝吉の寄付により再建されました。

### 図書館はあらゆる叡智に触れられる場所

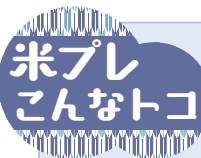
小学生の頃から中央図書館に毎日のように通っていました。選書が独特で、中には変わった図書もあり、全く飽きませんでした。今でも長岡に帰ると図書館に行きます。長岡の図書館の素晴らしきところは、年齢にかかわらず貴重な図書を手に取ることができること。東京では閲覧利用者を年齢制限している所もあるのに意外と珍しいのです。長岡には知識を幅広く習得できる環境があります。僕もさまざまな図書に触れ



ギリア(株)  
代表取締役社長 兼 CEO  
**清水 亮** さん

長岡市出身。プログラマーとして世界を旅しながら見聞を広め、平成29年にソニーCSL、WILとともにギリア(株)を設立。「ヒトとAI(人工知能)の共生環境の構築」の実現に情熱をささげている。

て、学校では教えてもらえないような知識を習得できました。それが今のキャリアにもつながっていると感じます。米百俵プレイスは、誰もがあらゆる叡智に触れられる場所であってほしいです。図書があるだけでなく、整理された情報が集合していることに価値があります。未来を切り開く力を身に付けるにはこのような場が必要です。図書館であるからこそ得られる幸せや発見がきっとあるはず。



暮らしや仕事をサポート  
課題解決型のまちなか図書館



最新の資料収集や情報提供サービス、起業・創業、経営支援などが充実したビジネスライブラリー。リラックスできる閲覧スペースでは、読書、勉強、仕事など自由な時間が過ごせて、より豊かな暮らし方や働き方をサポートします。



▲米百俵プレイス3階の「まちなか図書館」のイメージ